

## 三宅島の現状（その36）

平成14年8月10日

現地災害対策本部（三宅島）

### 【気象及び火山活動の状況】 7月26日～8月10日

太平洋高気圧が南から張り出し晴れの安定した天気が続きました。27日は高気圧の縁を廻る風によって弱い雨を観測しました。

火山の活動状況は、1日に小噴火が発生し、島の東部で微量の降灰が確認されました。この時、体を感じる地震は観測されませんでした。噴煙の状況は雲のため観測できない日が多ありましたが、火山ガス（SO<sub>2</sub>）の放出量調査は、31日に警視庁の協力により約7,000トン/日～14,000トン/日 7日は陸上自衛隊の協力により、約5,000トン/日～8,000トン/日を観測しました。

### 【日帰り帰宅事業の実績】

年月日	H14.4.2	H14.4.9	H14.4.16	H14.4.23	H14.5.14	H14.5.21	H14.5.22
場所	坪田地区	三宅地区	阿古地区	坪田地区	三宅地区	阿古地区	坪田地区
人数	179名	194名	190名	189名	168名	178名	289名
年月日	H14.6.25	H14.6.26	H14.7.2	H14.7.18	H14.7.30	H14.7.31	
場所	三宅地区	阿古地区	坪田地区	三宅地区	三宅地区	阿古地区	
人数	286名	264名	101名	186名	173名	155名	

### 【三宅島児童生徒一時帰宅の実績等】

年月日	H14.8.5	H14.8.6	H14.8.7
場所	坪田地区	阿古地区	三宅地区
人数	114人	150人	182名

8月5日・6日・7日の3日間で、児童・生徒の日帰り一時帰宅を実施しました。全日好天に恵まれ、2年ぶりにわが家や母校を訪れ、懐かしさとともに自分の目で三宅島の現状を確認したことと思います。暑いさなかでしたが、幸い事故やけがもなく、はまゆう丸に元気に乗船し三宅島を離れていきました。

### 【雄山火口ガス測定(P作戦)の延期等】

7月31日・8月1日に雄山火口ガス測定のためP（パイプ）作戦を予定しましたが、雲による視界不良のため、ヘリでの資材運搬が両日ともできず延期となりました。また、1日には、阿古地区の日帰り帰宅が実施されましたが、住民離島後の午後5時前後、小噴火による降灰が三池から大沢付近で観測されました。

### 【島内作業の休みの期間】

8月10日（土）から8月18日（日）までの期間、一部の防災関係者は除き、三宅島での島内作業を休みにします。

### 【就労情報】

村役場では求人情報を下記のホームページに掲載するとともに、住民情報ネットワーク（島民連絡会）42ヶ所の連絡所にも送付しております。仕事を探している方はもよりの連絡所でご覧下さい。また、就職についての相談は三宅村村民課避難対策係（代表03-5321-1111内線45-651）にご連絡ください。なお、直近の情報はホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」をご覧ください。

（アドレス <http://www.miyakemura.com>）

（問い合わせ先）三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854

14 三新保発第 434 号  
平成 14 年 8 月 21 日

乳幼児のお子さんをもつ保護者のみなさま

三宅村役場 保健福祉課

### 『三宅村のこどもと家族の実態調査』結果について

暑さの峠をこえ、朝夕だいぶ過ごしやすくなりました。全島避難から2年がたとうとしていますが、いかがお過ごしでしょうか？

今後の子育て支援を考えるために、平成 13 年度に実施させていただきました未就学児のお子さんをもつご家庭へのアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。遅ればせながら、アンケート結果の集計・分析が終わりましたのでご報告いたします。

なお、本村のお子さんをもつ家庭の実態を知っていただくために、避難当時に未就学児のお子さん、また、避難後に生まれたお子さんのいらっしゃるご家庭のみなさまに送付しています。

子育てに関する不安や問題を少しでも解消していくために、遅ればせながら「三宅村母子支援事業検討委員会」を発足させました。避難先で、みなさまが安心して子育てをしながら帰島の日をむかえられるような支援を考えていきたいと思っております。

これまでに検討委員会では主に次のような支援策案が出されており、実施を検討しています。

- ・ 母子に関する情報提供：育児情報紙、広報
- ・ 母親の会の結成
- ・ 新生児訪問
- ・ 子育て中の全家庭の実態調査（電話または訪問）
- ・ 母子手帳の再発行（記入できる項目は、現在、三宅村に保管されているデータのみになります。）
- ・ 避難先区市町村との連携の強化

皆様にお答えいただきましたアンケートを参考に、取り組めることから始めていきたいと考えています。

よりよい子育て支援を考えるうえでは、主体であるみなさまの意見が重要になります。再度、ご協力いただくこともあるかと思いますが、その際にはどうぞよろしくおねがいたします。

連絡先

三宅村役場 保健福祉課

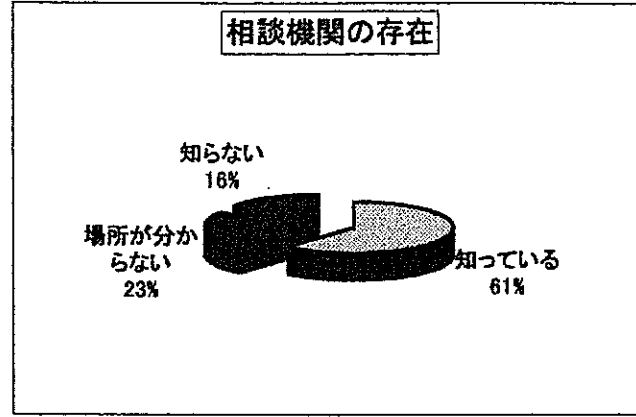
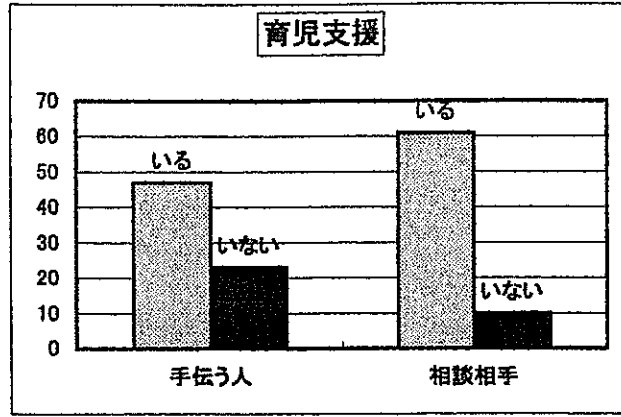
TEL 03・5320・7827

担当：蓄地・飛永・深見

### 3) 育児支援について

近くに「育児を手伝ってくれる人」がいるのは67%で、主に祖父母です。また「子育てについて相談出来る人」がいるのは86%で、その半数は「友人」をあげています。

「今住んでいる地域にある保健福祉センターなどの相談機関の連絡先を知っている」について、「知っている」と答えたのは61%の方でした。



### 4) みなさんの声

アンケートには皆様からいろいろな意見をいただきました。簡単にご紹介します。

#### \* 予防接種や健診のお知らせについて

- ・ 島に住んでいた時のようにお知らせが欲しい
- ・ 住所が三宅であるため、連絡がもらえないので、うっかり忘れてしまう
- ・ お知らせが自治体からくるものと思っていたので、とまどった
- ・ 自分から動かないといけないと思った

#### \* 保育園・幼稚園について

- ・ 保育園・幼稚園に関する情報が少ない、問い合わせても分からない
- ・ 保育園・幼稚園に入れる手続きがゼロからのスタート、入れることが難しい
- ・ 幼稚園に入れた時も他の市町村のような補助が受けられないか
- ・ 住民票がないので、保育園の手続きなどサービスが受けられない

#### \* 乳幼児に対する支援策について

- ・ もっと早い時期に声を聞いてもらいたかった
- ・ 避難生活で乳幼児に対する支援が少なかった、ミルク、オムツの生活費の負担が大きかった
- ・ 小中学生への支援はたくさんあったが、乳幼児の支援は少なかった、忘れられていたのか
- ・ 三宅の子供が集まれる企画があったらよかった
- ・ 母子手帳の都のサービス券が使えない

#### \* その他

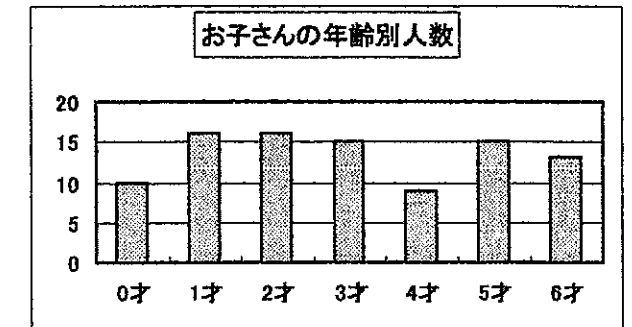
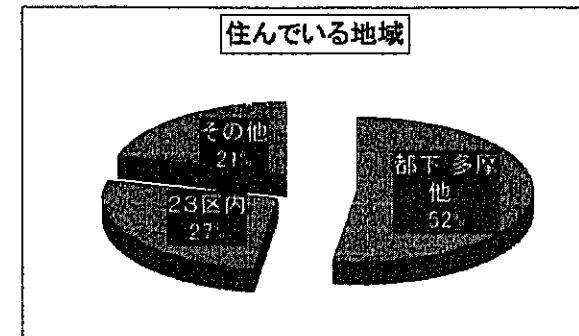
- ・ 避難先にどこまでとけこんだらよいのかと迷う
- ・ 一時帰島の時に子どもを預けられる場所が欲しい
- ・ 父親が三宅に行っているのに、いざと言う時助けてくれる人がいないのが困る
- ・ 子育ての相談ができないことが悩み など

## 三宅島の乳幼児アンケート結果のお知らせ

1月に三宅島の乳幼児のいらっしゃるご家庭 122 世帯を対象に、お子さんの健康状態、子育ての環境、現在お困りのことなど、三宅村のお子さんの現状を把握するためにアンケート調査をいたしました。ご協力いただきありがとうございました。遅くなりましたが、その結果をお知らせします。

### 1. アンケートにお答えいただいた方について

1月現在三宅島の乳幼児数は 164 人、世帯数は 122 世帯でした。この全員に対してアンケートをお送りし、うち、71 世帯 (58.2%)、乳幼児数 94 名 (57.3%) から回答をいただきました。



\* 全島避難後に 26 人のお子さんが生まれました。

### 2. お子さんの発達、健康状態と生活について

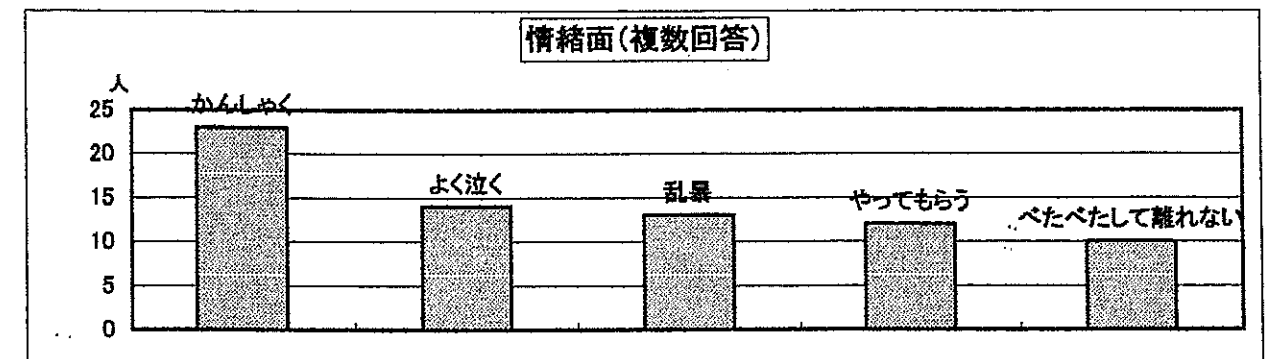
#### 1) お子さんの発達、健康について

「健康である」と答えた方は 83 人 (88%) でした。また 11% の方が「離島してから風邪をひきやすい」、「喘息になった」など、離島後の健康面の変化をあげていました。

心身の発達について、多くの方は「順調である」と答えていますが、「食欲がない」、(食事にむらがある)など食についての心配事が 16% の方にありました。

情緒面については、以下の結果でした。主に 2 から 4 才の方が多く回答されていました。自分の気持ちを言葉で上手に伝えられない時は行動で表そうとするためかもしれません。

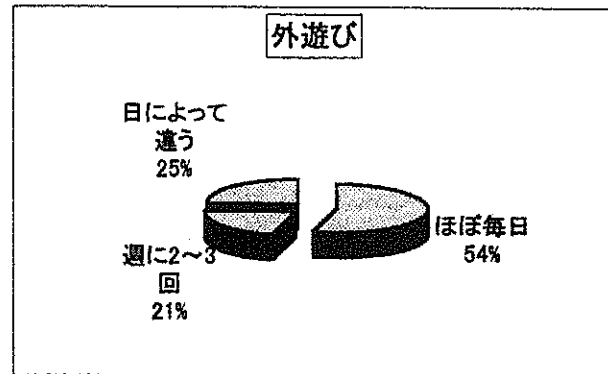
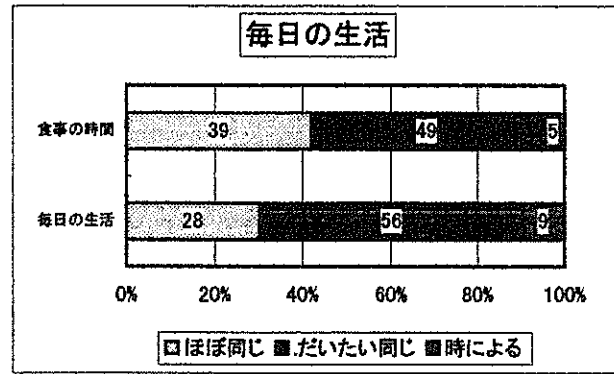
また避難時を振り返って「避難時はストレスからか甘えることが多かった」、「避難時は地震等を思い出すのか今以上にたいへんだった」などがあげられ、避難時のストレスの強さを示しています。



## 2) 生活について

お子さんの食事時間や外遊びなど生活のパターンは多くの方が「大体同じ」と答えて、安定して毎日を送っているようです。

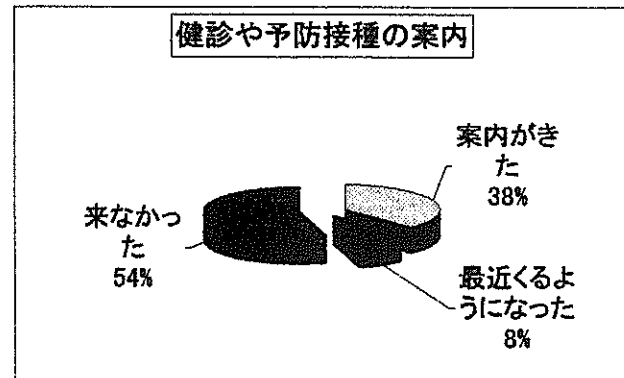
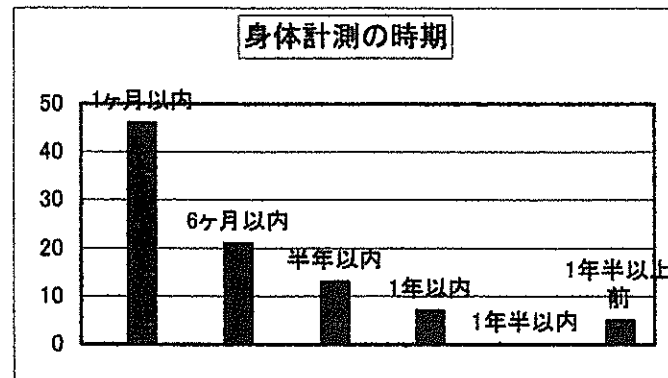
また、三宅で保育園に通っていたお子さんは、全員が保育園か幼稚園に通っていました。



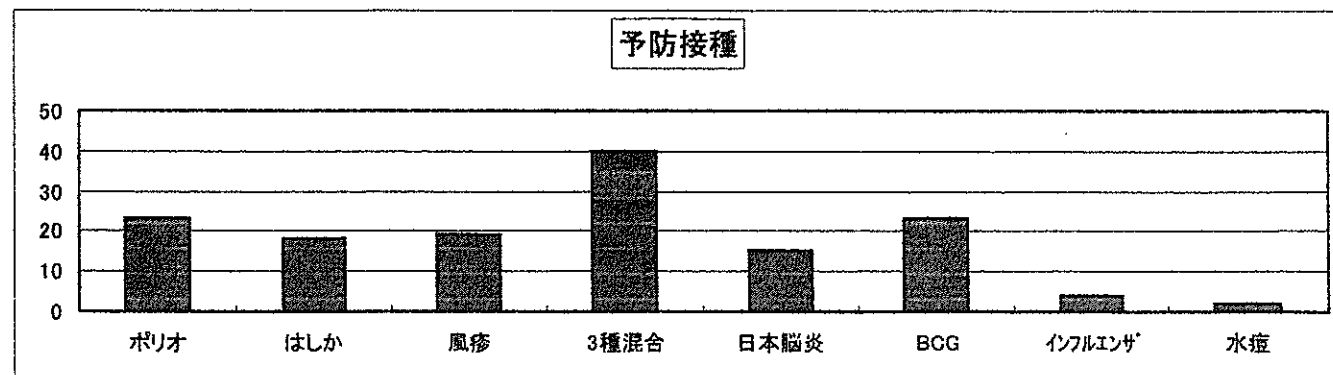
## 3) 健診・予防接種について

健康や発達を見る機会は、健診時や保育園・幼稚園での身体計測の時です。身体計測の機会がなかった方は2才から3才までの方でした。

健診や予防接種の案内は半数の方が「来なかった」と答えています。一方、健診を受ける年齢のお子さんの80%が「健診を受けた」と答えています。



予防接種を受けた述べ人数は次のようです。三才までの方の86%が何らかの予防接種を受けていました。

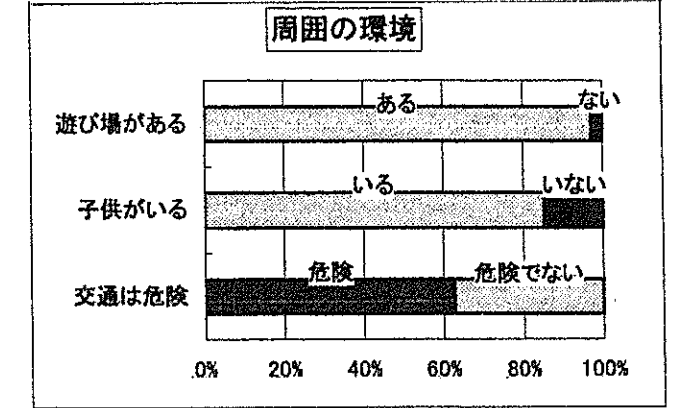
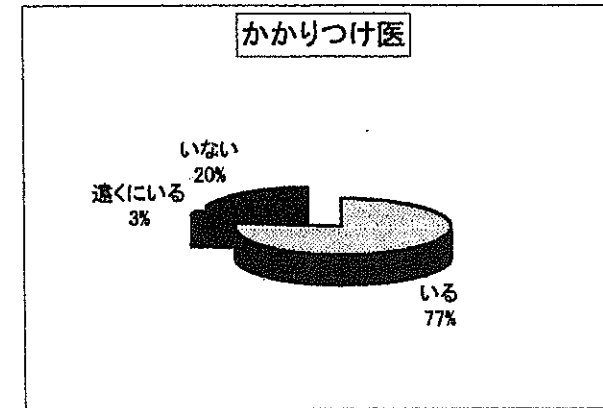


## 3. ご家族について

### 1) ご家族の状況

住居は、80%の方が集合住宅(アパートなど)と答えています。近くに「かかりつけ医がいる」と答えた方が77%でした。周囲の環境について、「遊び場がある」と答えた方は96%で、「同年齢の子どもがいる」方は82%でした。しかし、63%の方が「交通が激しく危険である」と答えています。

住宅の構造や道路の危険性など現在の環境は三宅村とは大きな違いがあります。

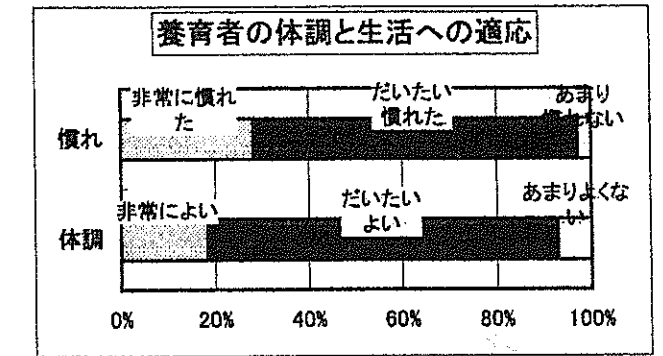


### 2) お子さんのお世話する方(養育者)の状況について

お子さんのお世話を主にしているのは、「お子さんの母親」と答えた方が96%でした。

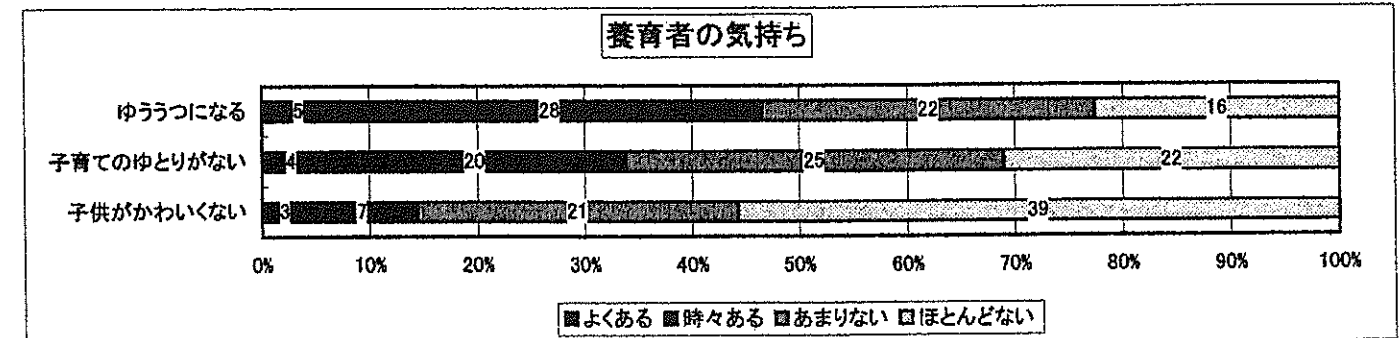
お子さんを主に世話されている方が避難先の生活に慣れたかについての問いでは、97%の方が「慣れた」と答えています。

またご自身の体調について、「良い」と答えた方が93%でした。



お子さんのお世話をされている方は気持ちについての問いには次のように答えています。「気分が落ち込みゆううつになる」ことがあると答えた方は46%、「生活のことが心配で、子供のことを考える気持ちのゆとりがない」ことがあると答えた方が34%、また、「子どもがかわいくないと思う」ことがある方は14%いました。

お子さんのお世話をされている方の多くは、一見避難地に適応しているようですが、今後の生活ことなど心配事を抱えているため、気分がふさいだり、気持ちがお子さんに向かうゆとりがない時があるようです。



アンケートの結果はいかがでしたでしょうか。

皆様がいかに大変な状況で子育てをされていたかが伝わってきます。お子さんにとっても避難から現在までの生活の変化は大きく、健康面で発達面でさまざまな問題にぶつかったことが想像できます。その過程で村としての支援が不足していたことを痛感しています。

おわかりのように、お子さんの健康や子育てに関する問題は山積みです。アンケートをきっかけに、個別に寄せられた相談に対しては、できる限り対応してまいりました。

またアンケートやお電話でのご相談では、健診・予防接種に関する質問が多く寄せられたため、乳幼児期に関する保健事業を簡単にまとめたものを4月に各ご家庭に配布させて頂きました。

多少はお役に立てたでしょうか。

アンケートの項目以外にも、みなさまは、お子さんの健康やよりよい子育て支援について多くのご意見をお持ちと思います。

あるいはあらたにお子さんについて心配事や気がかりなことがある方もいらっしゃるかもしれません。

ご意見、ご相談がございましたら、下記にご連絡ください。

みなさまと村とのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。

村の母子保健事業についてのご意見、ご希望や  
お子さんの健康や子育ての心配ごと、お困りのことについてのご相談は

三宅村新宿総合事務所 保健福祉課  
電話 03-5320-7827

アンケート結果についてのお問い合わせは

三宅村新宿総合事務所 保健福祉課  
電話 03-5320-7827

もしくは  
東海大学健康科学部 式守晴子  
電話 0463-90-2063